

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1084	課コード	1605	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	視聴覚教材等の貸出	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	生涯学習部・生涯学習課			
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ( )		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.1人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,133千円 (うち人件費 890千円)		(変更後)	1,142千円 (うち人件費 890千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	51101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市生涯学習推進計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が学びたいときに学ぶことのできるよう、図書館や島の博物館、白樺文学館、視聴覚ライブラリーなどの学習事業や公民館の学級・講座・生涯学習出前講座の拡充などにより、学習機会の充実に努めます。			事業目的	広く市民や団体が行う生涯学習や社会教育などの活動を支援するため、映写機やプロジェクターなどの視聴覚教材等を確保し、生涯学習や学校教育、家庭教育、幼児教育、青少年教育、地域活動、市民活動などの場で活用してもらう。					
(3) 事業内容	内容	・保有している視聴覚教材を貸出しし、有効活用を図るとともに、社会教育団体等を対象に映写機やプロジェクターなどの視聴覚教材等の貸出しを行う。 ・16ミリフィルムを劣化を防ぐため、貸出頻度の高いフィルムの保守点検を行う。			当該年度執行計画	・教材等の貸出し業務 (通年)					
		当該年度活動結果指標	視聴覚教材等利用件数	単位	件	想定値	300	実績値	166		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	市民や団体が行う生涯学習や社会教育の活動を支援するため、視聴覚教材等の貸出しを行う。				直接	視聴覚教材等利用件数		件	166	200	
令和4年度	同上				直接	同上		件		200	
令和5年度	同上				直接	同上		件		200	
(7) 事業実施上の課題と対応	インターネット等の普及により視聴覚教材の貸し出しは減少の傾向にあるが、団体利用などの需要があるため引き続き教材の貸出を行っている。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		・消耗品	12	・消耗品	0	・消耗品	12	・消耗品	12		
		・修繕料	30	・修繕料	30	・修繕料	30	・修繕料	30		
		・火災保険	3	・修繕料(流用)	9	・火災保険	3	・火災保険	3		
・パート会計年度(事務補助)報酬	197	・火災保険	3	・パート会計年度(事務補助)報酬	210	・火災保険	3	・パート会計年度(事務補助)報酬	210		
・パート会計年度(事務補助)報酬		・パート会計年度(事務補助)報酬	210								
予算(決算)額	合計		242	合計		252	合計		255		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%		
	一般財源		242		252		255		255		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.1		0.08		0.08			
	正職員人件費	870		890		712		712			
	嘱託職員報酬額	197		210		218		218			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,112		1,142		1,142		967		967		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3.71千円/件		3.81千円/件		6.88						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	・視聴覚教材及び機材は、その活用方法により、よりわかりやすい学習機会を提供することができることから、さまざまな場所で必要とされている。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性) ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input checked="" type="checkbox"/> その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				<その他の内容> 個人・団体の学習活動等のため、無料で使用できる機器を提供している。 <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ②市が主導で進めなければ実効性がなかった ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ⑤サービス水準が確保された ⑥サービスの安定供給基盤が確保された ⑦その他 <その他の内容>				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 特になし				出前講座や市民イベント等での利用があった ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 特になし				機材・教材の保守・点検を行い、長期にわたって使用できるようメンテナンスをしている。 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (件)	目標値 (b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標値達成 ●②目標値未達成	
	166	200	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (件)	(f/b) × 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の拡大のため	
					79	39.5			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%)		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	1,142	△30	<削減の内容>		1,142	100		○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	17.51	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	(h/e) × 100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の拡大のため	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1085), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section for future plans.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1089), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a row for overall status and comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1107), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1160	課コード	1605	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	出前講座の運営	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	生涯学習部・生涯学習課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	2,601千円 (うち人件費 1,780千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	51101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 生涯学習推進計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が学びたいときに学ぶことのできるよう、図書館や島の博物館、白樺文学館、視聴覚ライブラリーなどの学習事業や公民館の学級・講座・生涯学習出前講座の拡充などにより、学習機会の充実に努めます。			事業目的	行政・市民・学校・企業などいわゆる地域が持つ能力や知識を活用し、市民が主催、実施する集会・勉強会等の学習活動を支援する。				
(3) 事業内容	内容	市内に在住・在勤・在学している原則10人以上（市民講師は講師が希望する最少人数）の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師を派遣し、専門知識を活かした講座を行う。様々な分野の講師を活用し講座内容を充実させ、幅広い学習機会を提供することで、市民が市政について学んだり、新しい学習活動を始めるきっかけづくりの場とする。			当該年度執行計画	年間を通して、随時の申請に応じ、出前講座の日程・内容等の調整、決定、各課・市民講師への実施依頼などを行う。PR活動を行う。年度末に次年度に向けて現行講座内容の見直し、講師の更新作業を行う。				
		当該年度活動結果指標	出前講座メニュー利用者数	単位	人	想定値	3,500	実績値	1,134	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	多くの市民に出前講座を利用して市民の学習活動に役立ててもらう。				直接	出前講座メニュー利用者数		人	3,199	3,500
令和4年度	多くの市民に出前講座を利用して市民の学習活動に役立ててもらう。				直接	出前講座メニュー利用者数		人		3,600
令和5年度	多くの市民に出前講座を利用して市民の学習活動に役立ててもらう。				直接	出前講座メニュー利用者数		人		3,700
(7) 事業実施上の課題と対応	リピーター数が多く、同じ講座を受講することができないことから、年々利用者数は減少傾向である。チラシやメニュー表を公共施設に配布しているが、新たに利用する団体を見つけるため出前講座についてのPRの工夫が課題である。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		パート会計年度(事務補助)報酬	1,054	パート会計年度(事務補助)報酬	643	パート会計年度(事務補助)報酬	643	パート会計年度(事務補助)報酬	643	
		講師報償	60	講師報償	60	講師報償	60	講師報償	60	
		消耗品	91	消耗品	83	消耗品	83	消耗品	83	
通信運搬		通信運搬	35	通信運搬	35	通信運搬	35			
予算(決算)額	合計		1,205	合計	821	合計	821	合計	821	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源	1,205	821	752	821	821	0	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
	正職員人件費	1,740	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780			
嘱託職員報酬額	1,054	1,054	1,054	1,365	1,365	1,365	1,365			
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,945	2,601	2,532	2,601	2,601	2,601	2,601			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.84千円/人		0.74千円/人		2.23					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	○市民調査結果からも生涯学習に対する市民の関心が高まっており、現在の社会の要請に応え、市民の自主的な学習活動を支援していく必要がある。 ○市民のライフスタイルの変化などにより市民のニーズが多様化、高度化しており学びたいときに学べる幅広い学習機会を提供して行く必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 学びたい時に学習機会のニーズがある。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 出前講座には、「市役所メニュー」(市の事業について学習を行う)、「市民講師メニュー」(市民が講師を行う)、「キャンパスメニュー」(大学の先生が学習を行う)。3つのメニューがあり、市が出前講座の事業を行うことにより、公共性を保ちつつ人材を活用し、講座の利用ができるため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		市民が講師となり市民が集う学習の場へ出向き講座を実施する。		市民・市の職員・大学の先生が講師となり、市民が集う学習の場へ出向き講義を実施した。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 地球温暖化や自然環境に関する講座を実施している。				地球温暖化や自然環境に関する講座を設けている。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要	
	3,199	3,500	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルスの影響で人気の講座の受付を中止していた期間があった。		
	1,134	32.4			2,532	97.35			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	○要 ●不要
	2,601	344	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		2,532	97.35	<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要
	134.56	人	費用単位	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の影響で受付を中止していた期間があったため。	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1165), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for FY2021-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future plans.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1167), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1168), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1171	課コード	1605	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公民館連絡協議会事務	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	生涯学習部・生涯学習課			
	③事業主体	○市 ●その他（東葛飾地区連絡協議会）	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	1人（換算人数）		0.05人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費 5,908千円	当該（開始）年度	（当初）	1,257千円（うち人件費 445千円）					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 51102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテーマとした学習事業を実施します。また、まちづくりを担う人材が育つよう、市民の自主的な学習活動を支援します。			事業目的	公民館相互の連携を図り、公民館活動の振興・発展を目的とする。				
(3) 事業内容	内容	市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテーマとした学習事業を実施します。また、まちづくりを担う人材が育つよう、市民の自主的な学習活動を支援します。 次の連絡協議会事業に参加する。 ①東葛飾地区情報、資料の交換及び協力連携を図るための部会。 ②職員の育成・知識・技術の向上を図るための研修会。			当該年度執行計画	千葉県公民館連絡協議会などは、研修会の開催等おこなう。 ・東葛飾地区連絡協議会研修会				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	公民館相互の連携を図り、公民館運営に役立てる。				間接	東葛飾公民館連絡協議会の研修への参加者数	人	0	30	
令和4年度	公民館相互の連携を図り、公民館運営に役立てる。				間接	東葛飾公民館連絡協議会の研修への参加者数	人		30	
令和5年度	公民館相互の連携を図り、公民館運営に役立てる。				間接	東葛飾公民館連絡協議会の研修への参加者数	人		30	
(7) 事業実施上の課題と対応	各市と情報交換を図り、公民館相互の連携を一層進めていくことが課題である。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度			令和4年度		令和5年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		協議会負担金（県）	42		協議会負担金（東葛飾地区）	13		協議会負担金（東葛飾地区）	13	
		協議会負担金（東葛飾地区）	13		協議会負担金（東葛飾地区）（12月補正）	0		協議会負担金（東葛飾地区）	3	
		関係プロ千葉大会研修負担金	5		コーディネーター研修費用弁償・旅費	3		コーディネーター研修費用弁償・旅費	3	
	コーディネーター研修費用弁償・旅費	3		コーディネーター研修費用弁償・旅費	0		パート会計年度（公民館CN）報酬	796		
	関係プロ千葉大会研修旅費	4		パート会計年度（公民館CN）報酬	796		パート会計年度（公民館CN）報酬	796		
	パート会計年度（公民館CN）報酬	796			796					
	予算（決算）額	合計	863	合計	796	合計	812	合計	812	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		863		796		812		812	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05		0.05		0.2		0.2	
	正職員人件費		435		445		1,780		1,780	
	嘱託職員報酬額		796		796		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費（予算（決算）額+正職員人件費）		1,298		1,241		2,592		2,592	
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	24.49千円/市町村		23.42千円/市町村			0				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討		
	市民のライフスタイルの変化などにより市民の学習ニーズが多様化・高度化しており、公民館事業の一層の充実をはかるため、各市と情報交換を図り公民館相互の連携を進めることは必要である。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 費用対効果や人的負担等の検討した結果、令和3年度より千葉県公民館連絡協議会を退会した。				●要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要		
	○②自治体である市が推進すべきである（理由） <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他										
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>				企画から実施段階で市民の参加を求めている。				とくになし	○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ●③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> 令和3年度より千葉県公民館連絡協議会を退会したため。	●要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮	
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>				環境負荷低減の内容を盛り込んでいる。				とくになし	○①想定どおり ●②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因> 令和3年度より千葉県公民館連絡協議会を退会したため。	●要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ●②目標値未達成			
	0	30	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である				実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 令和3年度より千葉県公民館連絡協議会を退会したため。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他				実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因> 令和3年度より千葉県公民館連絡協議会を退会したため。		
事業費削減率(%)		<削減の内容>				<超過理由等>					
4.39											
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		
	2.42	単位 費用単位 人 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 令和3年度より千葉県公民館連絡協議会を退会したため。		
1.61						66.53					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ●事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価コメント	東葛飾地区の近隣市と連携しながら、最新の動向に関する情報を得ることができ当市の公民館事業の充実化を図ることができた。				改善策及び展開方向					
					令和3年度に千葉県公民館連絡協議会を退会したため、今後は今までも東葛飾地区の近隣市と連携しながら、最新の動向に関する情報を得ることが必要となる。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1173), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1176), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a summary of findings and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1177), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1178), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状どおり推進, 拡充, etc.) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1184), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

Table with 10 main sections: 1. 事業の概要 (PLAN), 2. 事業の評価 (DO+CHECK), 3. 事後評価. Includes details on project goals, budget, and evaluation criteria.

Table with 10 main sections: 4. 事後評価 (POST-EVALUATION), 5. 評価コメント, 6. 改善策及び展開方向. Includes post-project evaluation, comments, and future improvement strategies.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1682), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for overall project status and future directions.



事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2228), 課コード (1605), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.) and a final evaluation comment.